

2025 年 7 月 2 日

入院診療を受けられた患者さんへ

「がん悪液質の発現が非小細胞肺がんのがん薬物療法の治療効果に及ぼす影響に関する研究」への協力のお願い

薬剤部では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2013 年 1 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までに肺がんに対して 1 次治療としてプラチナ系薬剤併用療法単独または免疫チェックポイントとの併用療法が開始された患者さん

研究期間：研究機関の長の許可日～2028 年 3 月 31 日

研究目的・利用方法：

がん悪液質は食欲不振を伴う体重減少、特に筋肉量の減少を特徴とする複合的栄養不良の症候群であり、がん患者さんの生活の質を低下させ、予後に影響する可能性があります。実際にがん薬物療法の効果に影響することが報告されています。本研究では肺がんに対して 1 次治療としてプラチナ系薬剤併用療法単独または免疫チェックポイントとの併用療法が開始された患者さんを対象として、がん悪液質の発現の有無により、無増悪生存期間や全生存期間に及ぼす影響を検討します。またがん悪液質の発現時期についても検討を行います。これらより、がん悪液質の適切な介入によりがん薬物療法の効果を最大化することを目的とします。

研究に用いる情報の種類：

電子カルテ記録および看護記録等から以下の項目について、診療録より調査します。

これらはすべて日常診療で実施された項目です。

患者背景（年齢、性別、身長、体重）、臨床検査値（ALB、AST、ALT、T-Bil、WBC、Neut、Lymph、HGB、PLT、CRP、Cre、CRP、T-Chol、CEA）、有害事象（食欲不振、悪心、嘔吐、口内炎、味覚障害、下痢、倦怠感）、抗がん剤の投与量・投与期間・治療終了理由、生存期間、奏効率

研究に用いる情報の利用を開始する予定日：2025 年 7 月 15 日

外部への試料・情報の提供：なし

研究への参加辞退をご希望の場合：

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませ

るので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、代表機関である岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において一括審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。各共同研究機関においても研究機関の長の許可を得ております。本研究では共同研究機関と情報を共有して当院内でデータ解析を行います。

この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当院における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反：

研究者及び共同研究機関に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究代表者：岐阜大学医学部附属病院 薬剤部

氏名：鈴木 昭夫

共同研究機関等：

岐阜薬科大学先端医療薬学研究室

研究責任者：小林 亮

連絡先：

岐阜大学医学部附属病院 薬剤部

電話番号 058-230-7088 氏名：藤井 宏典

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp